

一般社団法人日本鉱物科学会  
2022年度 定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2023年9月15日（金）14：00～15：15
2. 開催場所：大阪公立大学杉本キャンパス 全学共通教育研究棟 1階 810室  
(〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138)
3. 出席役員：(Z) :Zoom出席

会長（代表理事）：大和田正明， 副会長（代表理事）：井上 徹

理事：

阿部なつ江，磯部博志，池田 剛 (Z)，大藤弘明，鍵 裕之，亀井淳志，川本竜彦，  
河上哲生，興野 純 (Z)，栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，富岡尚敬，永井隆哉，  
永嶋真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar，三宅 亮

（欠席理事：辻森 樹，土屋範芳）

監事：下林典正 (Z)

4. 議長：河上哲生 理事
5. 議事録作成者：磯部博志 理事
6. 報告事項
  - I. 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告  
(学会誌等発行事業，集会及び行事の開催事業，研究の奨励及び業績の表彰，学会諸事業)
  - II. 2023年度（一般社団法人第8期）事業計画書及び収支予算などの件

7. 決議事項

- I. 第1号議案 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告承認，決算承認の件

8. 授賞式

- 一、日本鉱物科学会賞授与
- 一、渡邊萬次郎賞授与
- 一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、櫻井賞授与
- 一、JMPS学生論文賞授与
- 一、日本鉱物科学会表彰授与

## 9. 議事の経過の要領及びその結果

- (1) 議長選出：定刻に至り、一般社団法人日本鉱物科学会大和田正明会長が、定款第15条により議長の選任について諮ったところ、河上哲生 理事の推薦があり、満場一致をもって議長に選出された。
- (2) 開会宣言：河上議長が、本総会は現地開催を主として、テレビ会議システム(ZOOM：ズーム)を併用して開催する旨を述べ、社員(当法人の正会員又は名誉会員)のうちZOOMを使用してのオンライン出席者の通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の適時的確な意見表明が互いにできる状態)が正常であることの確認とZOOM利用のお願いなどを再確認して、一般社団法人日本鉱物科学会2022年度定時総会の開会を宣言した。
- (3) 定足数の確認：河上議長により、定足数の確認および出席者数の確認が行われ、下記の定足数に足る社員の出席があったので、河上議長は議事に入った。

議決権のある社員数：815名

この議決権の総数：815個（定足数82人）

出席社員数：181名

（内訳）本人出席106人（会場87人＋ZOOM出席19人）

＋書面75人[代理人行使（62人）＋書面議決権行使（13人）]

この議決権の総数：181個

- (4) 物故会員（丸茂文幸 名誉会員、清水正秀 シニア会員、田野崎 隆雄 会員、武田 弘 名誉会員）への黙禱がなされた。

## 報告事項

### I. 2022年度（一般社団法人第7期 2022年8月1日～2023年7月31日）事業報告

#### 大和田 正明 会長 挨拶

大和田 正明会長より、挨拶と共に2022年度一般社団法人日本鉱物科学会の活動について次の通り概要の報告が行われた。

2022年度は一般社団法人日本鉱物科学会として第7期です。まだ、気は抜けないですが、コロナ禍がようやく落ち着き、昨年からの対面での年会在り再開されました。会員の皆様には、こうした困難を乗り越え、学会活動へご協力をいただいていることに心から御礼申し上げます。

長年、鉱物科学会を支えていただいた宮地さんが事務局の一線を退かれ、新たな事務局体制での学会運営がスタートしました。そのため、現体制での運営が軌道に乗るまで、皆様にご迷惑をお掛けすることもあろうかと存じますが、会員の皆様からのご意見に耳を傾けて鉱物科学会の発展に尽力したいと考えています。

今年の年会在りも、引き続きオンラインとのハイブリッド型式で実施します。コロナ禍を乗り越える過程で、新しい運営方法を模索し、多くの参加者を得て、活発な議論を展開できたことは、LOCの尽力と会員の皆様の協力の賜物です。学問と学会の発展に向かって前進できたことを嬉しく思います。改めて、開催にご尽力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本会の運営は、未だ大変厳しい状況にあります。この間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討してきました。財政の健全化を図るため、学会誌の完全電子化を成し遂げ、さらに事務局と役員業務の改革を進めてきました。学術活動に専念できる体制を整え、会員のみならず、社会にも貢献する活気を取り戻す道筋も見えてきたと思います。引き続き皆様の積極的な参加をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

次いで、2022年度第3回定例理事会(2023年8月24日開催)において2022年度事業報告として承認された下記個別事業報告について、会長が各業務を一任している各担当者から総会資料に基づき報告説明がなされた（総会資料参照）。

1. 和文誌（岩石鉱物科学）、英文誌（Journal of Mineralogical and Petrological Sciences）、その他の電子版による発行事業
  - (1) 和文誌（岩石鉱物科学）編集報告（高澤和文誌編集幹事）
  - (2) 英文誌（JMPS）編集報告（M. Satish-Kumar英文誌編集幹事・理事）
2. 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催事業
  - (1) 行事報告・年会報告（片山行事幹事）
  - (2) 広報報告（大藤広報幹事・理事）
  - (3) Elements報告（井上副会長）
3. 研究の奨励及び業績の表彰（磯部庶務幹事・理事）
  - (1) 2022年度日本鉱物科学会賞表彰
  - (2) 渡邊萬次郎賞表彰
  - (3) 2022年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰
  - (4) 2022年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰
  - (5) 櫻井賞表彰
  - (6) 2022年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰
  - (7) 2022年年会研究発表優秀賞表彰
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業
  - (1) 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）
  - (2) 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）
  - (3) JpGU 2022年学会選出プログラム委員報告（西原委員長 代理: 磯部庶務幹事・理事）
  - (4) 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）
  - (5) 学術会議・IMA小委員会報告（西山学術会議連携会員 代理: 磯部庶務幹事・理事）
  - (6) 教育普及委員会報告（林信太郎委員長 代理: 磯部庶務幹事・理事）
  - (7) 博物館委員会報告（坂野委員長・理事）
  - (8) 新鉱物・命名・分類委員会報告（門馬委員長 代理: 磯部庶務幹事・理事）
  - (9) 研究部会「岩石－水相互作用」および WRI-17組織委員会報告（土屋 WRI-17組織委員長・理事 代理: 磯部庶務幹事・理事）
  - (10) 会員報告（阿部会員幹事・理事）

## II. 2023年度（一般社団法人第8期）事業計画書及び収支予算案などの件

1. 大和田会長により、2022年度第3回定例理事会（2023年8月24日開催）において承認された2023年度事業計画が紹介された。

編集事業：岩石鉱物科学、Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2024年年会（名古屋大学）の開催と2023年度定時社員総会の開催、一般普及講演、各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

また、この1年間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討し、事務局と役員業務の改革を検討し、会員の皆様にお示したところです。第8期では、学会事業の見直しをさらに進め、学術活動に専念できる体制を固め、会員のみならず、社会にも貢献する体制を拡充して参りたいと思います。

2. 栗林会計幹事により、同じく第3回定例理事会にて承認された2023年度収支予算書について定時総会資料に基づいて紹介された。

### その他

その他の報告は無かった。

## 決議事項

### I. 第1号議案 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告，決算承認の件

（大和田会長 説明：栗林会計幹事，監査報告：下林監事）

1. 栗林会計幹事から，2022年度（一般社団法人第7期）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの財務諸表に対する注記，附属証明書について，配布資料に基づいて説明がなされた。
2. 下林監事から，総会招集通知の監査報告書に記載の通り，会計，事業，理事の業務に関し，いずれも適正に執行されていることが確認された旨，監査報告書が読み上げられ報告された。
3. 議長により，これらについて諮ったところ，反対，保留はなく社員の賛成多数をもって承認可決された。

## 閉会

以上をもって、テレビ会議システム（ZOOM）を併用した本総会は終始異常無くすべての議事を終了し、議長は14時55分に閉会を宣した。

上記の議事の要領及び結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第18条第2項に規定されている総会に出席した正会員より選出された議事録署名人（1名以上）が次に記名，押印する。

令和5年9月15日

一般社団法人日本鉱物科学会 2022年度定時社員総会

理事 磯部 博志 印

(配布時押印省略)

## 授賞式

各賞選考委員会による選考理由が会場にて紹介されるとともに磯部庶務幹事より受賞者が紹介された。大和田会長が賞状を読み上げ、記念品とともに各受賞者へ授与された。

### 一、2022年度日本鉱物科学会賞授与

第27回受賞者：山口 亮 会員（国立極地研究所）

業績題目：「初期太陽系における分化天体の進化に関する鉱物科学的研究」

第28回受賞者：芳野 極 会員（岡山大学惑星物質研究所）

業績題目：「地球惑星内部物質の電気伝導度に基づく核及びマントルダイナミクスの研究」

### 一、渡邊萬次郎賞授与

第39回受賞者：豊 遙秋 永年会員

### 一、2022年度日本鉱物科学会研究奨励賞授与

第33回受賞者：西山 直毅 会員（産業技術総合研究所地質調査総合センター）

研究対象：「地質媒体中の物質移動と岩石-水相互作用に関する研究」

第34回受賞者：松本 徹 会員（京都大学白眉センター/大学院理学研究科）

研究対象：「地球外試料から探る宇宙風化に伴う固体物質の進化」

### 一、2022年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

第15回受賞者：杉浦 悠紀 会員（産業技術総合研究所）

受賞題目：「術後感染症防止機構を付与した骨再生材料の開発」

### 一、櫻井賞授与

第46回受賞者：富岡 尚敬 会員（海洋研究開発機構）

対象鉱物：秋本石

### 一、2022年度JMPS学生論文賞授与

第15回受賞論文：Crystal structure of nesquehonite,  $MgCO_3 \cdot 3H(D)_2O$  by neutron diffraction and effect of pH on structural formulas of nesquehonite. JMPS v.116-2, p.96-103, 2021

Authors: Gen-ichiro YAMAMOTO, Atsushi KYONO, Jun ABE, Asami SANO-FURUKAWA and Takanori HATTORI

受賞者：山本 弦一郎 会員（投稿時：筑波大・D1）

第16回受賞論文：Tracht change of groundmass pyroxene crystals in decompression experiments. JMPS v.117, 003 (6p), 2022

Authors: Shota H. OKUMURA, Satoshi OKUMURA and Akira MIYAKE

受賞者：奥村 翔太 会員（投稿時：京都大・D2）

### 一、日本鉱物科学会表彰授与

受賞者：宮地 増美 殿